



クッキングコーナー

藤沢市民病院だより ふれあい77号 (202607)

栄養室提供

すっぱうまいで食欲増進！ 梅ドレッシング

今回は、食欲が落ちてしまいがちな夏にぴったりの、梅干しを使った食欲増進ドレッシングを紹介します。



《材料(2人分)》

梅干し(塩分10%)
種を除いてたたく -----2個分 (約20g)
水 ----- 大さじ1 (15g)
オリーブオイル ----- 大さじ1 (15g)
みりん ----- 大さじ1/2 (9g)
酢 ----- 小さじ1 (5g)
かつお節 ----- お好みで

作り方

1. 梅干しの種を除き、たたいて細かくする。
2. 残りの材料と、たたいた梅干しをよく混ぜて完成！

お好きなサラダや、冷や奴などにかけてみてください。
写真では、豚しゃぶとレタス、キュウリ、みずな、トマトのサラダにかけています。

栄養成分(1人分)				
エネルギー	炭水化物	たんぱく質	脂質	塩分
77kcal	0.6g	0.5g	7.1g	0.8g

梅干しに含まれるクエン酸には、食欲増進、疲労回復効果があるとされており、レモンやかぼすなどの柑橘類にも豊富に含まれています。夏の暑さでたまった疲労回復のために、是非取り入れてみてはいかがでしょうか。
* 梅干しは塩分を沢山含んでいるため、食べ過ぎには注意が必要です *

お知らせ

初診予約がより便利に！WEB初診予約・予約変更サービスがスタートしました！

藤沢市民病院では、患者さんの利便性向上と待ち時間短縮のため、インターネットを通じて「初診予約」および「予約変更・キャンセル」の手続きができるシステムを導入しました。

これまでお電話で承っていた手続きが、今後はスマートフォンやパソコンから24時間いつでもどこでも行えるようになります。通話料や電話の混雑状況を気にすることなく、ご自身のライフスタイルに合わせて申請が可能です。

手続き内容

初診予約：紹介状をお持ちの方（出産希望の方は紹介状不要です）
予約希望日の3営業日前までにお申し込みください

予約変更・キャンセル：変更希望日の3営業日前までにお申し込みください

ご利用方法

当院ホームページから専用ページへアクセスし、診療券番号やメールアドレス等の必要情報を入力して進めてください。操作手順の詳細や対象となる診療科については、ホームページにてご案内しています。

なお、予約内容によっては、引き続きお電話での調整が必要な場合がございます。今後も、より快適な診療体制の充実に努めてまいります。ぜひ、WEB予約サービスをご活用ください。



初診予約・予約変更は
こちらから



藤沢市民病院だより

発行 2026年(令和8年)7月15日
編集 藤沢市民病院 広報広聴委員会

ふれあい

77



『木陰で休息』 I.S.

今号の内容

- ◇院長就任のご挨拶
- ◇ご挨拶
- ◇病院発クッキングコーナーへすっぱうまいで食欲増進！梅ドレッシング
- ◇お知らせへ初診予約がより便利に！WEB初診予約・予約変更サービスがスタートしました！

院長就任のご挨拶

院長 岩瀬 滋

このたび2026年4月1日付で藤沢市民病院の院長を拝命いたしました岩瀬滋です。初期研修医として当院に勤務した1994年から在籍年数を数えると、今年で29年目を迎えます。長い年月をともに歩んできたこの病院で重責を担うこととなり、身の引き締まる思いとともに、地域の皆さまに貢献できる喜びを感じております。

当院は1971年の開院以来、地域の医療機関との連携を大切にしながら、救急医療、がん診療、小児・周産期医療、災害医療など、多岐にわたる役割を担ってまいりました。これまで築かれてきた信頼と実績を大切にしつつ、今後も「地域から必要とされる病院」であり続けることを最優先に取り組んでまいります。

そのためには、職員一人ひとりが日々研鑽を重ね、互いに補完し合いながら組織としての総合力を高めていくことが欠かせません。また、地域の医療機関や介護施設、訪問診療の先生方と連携を深め、患者さんを切れ目なく支える地域医療の実現にも力を注いでまいります。

さらに、患者さんの価値観や希望を尊重した医療を進めるため、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)の推進にも取り組み、より安心していただける医療体制を整えてまいります。

これからも地域の皆さまに信頼され、選ばれる病院であり続けられるよう、職員一同努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。





2026年4月より泌尿器科部長を拝命しました小貫 竜昭と申します。私はこれまで県内の様々な病院で勤務してまいりましたが、このたび地域医療の中核を担ってきた歴史ある藤沢市民病院に赴任いたしましたことを大変光栄に存じます。地域がん診療連携拠点病院として当科は前立腺がん、膀胱がん、腎がん、腎盂尿管がんなど尿路悪性腫瘍の診療に力を入れています。外科的治療においてはロボット支援手術を積極的に導入し、患者さんの負担軽減と早期回復を目指しております。また、外科治療だけでなく放射線治療やがん薬物療法まで最新のエビデンスに基づく診療を実践しています。さらに、前立腺肥大症などの排尿障害、尿路結石症といった良性疾患の診療に加え、尿路感染症や外傷など緊急の処置を伴う救急疾患に対しても幅広く対応しています。近年は医療の進歩とともに治療の選択肢も大きく広がっており、患者さんやご家族にとって最適な治療を提供することが求められています。当科は様々な専門領域の医師や医療スタッフと連携し、患者さんがより質の高い医療を安心して受けていただけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



2026年4月より整形外科部長を拝命いたしました國谷 洋（くにや ひろし）です。藤沢市民病院に勤務して13年目になります。整形外科では予定手術の脊椎手術や人工関節手術に加え、急患手術で対応している救命救急センターからの外傷や小児救急科からの小児の骨折などの治療も多数行っており、小児から成人、高齢者まで幅広い年齢層の患者さんの頸部から足先まで様々な部位の運動器の疾患を治療しています。



2022年よりFLS（Fracture Liaison Service；骨折リエゾンサービス）チームを発足させ、骨粗鬆症により脆弱性骨折を起こして治療した患者さんが次の骨折を起こさないよう予防するための取り組みも行っています。特に高齢者では骨折すると生活機能が大きく損なわれ生命予後も悪化しますので、しっかりと骨粗鬆症の治療を行って骨折を予防することは重要です。

今年度からはOLS（Osteoporosis Liaison Service；骨粗鬆症リエゾンサービス）の活動を開始して、骨折を起こす前の骨粗鬆症は未治療という患者さんの骨密度の評価をして適切な骨粗鬆症治療を導入していく取り組みを開始しました。

地域に密着した患者さん目線の医療を行うよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



2026年4月より消化器内科部長を拝命いたしました岩井 知久と申します。私はこれまで、難治性がんの代表とされる胆道・膵がんの早期発見、および内視鏡治療・化学療法に注力してまいりました。これらのがんは、解剖学的特性から早期に血管浸潤や転移を来しやすく、切除不能な状態で発見されるケースが多いのが現状です。近年、免疫チェックポイント阻害薬や遺伝子パネル検査に基づいた臓器横断的治療の進歩は目覚ましいものがありますが、内科治療のみで根治を目指すのは未だ困難です。したがって、「切除可能な早期段階」で拾い上げ、外科的治療へ繋げることが完治への鍵を握ります。



早期診断には、心窩部・背部痛、肝・膵酵素異常、糖尿病の新規発症や増悪、あるいは膵管内乳頭粘液性腫瘍（IPMN）等の膵嚢胞性病変といったリスク因子の把握が不可欠です。当院では、微小病変の診断に欠かせない超音波内視鏡（EUS）や病理診断、さらにEUSや内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）を駆使した高度なドレナージ治療まで完遂できる体制を整えております。地域や院内の他科の先生方と緊密に連携し、一人でも多くの患者さんを救えるよう、消化器内科チーム一丸となって最大の責任感を持って取り組んでいく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2026年4月に皮膚科部長として着任しました松本 桂と申します。横浜市立大学皮膚科学教室に所属し、これまで大学病院の他、神奈川県内の急性期病院、慢性期病院、クリニックと様々な規模の医療機関で医療に携わり、昨年度までは横浜市民病院で勤務しておりました。今回、ご縁があり藤沢市民病院で勤務することとなりました。



皮膚科では地域の中核病院としての機能を果たすべく、带状疱疹や蜂窩織炎、重症薬疹、水疱症、良性及び悪性腫瘍手術目的の入院加療を行っております。また、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性蕁麻疹、円形脱毛症に対する生物学的製剤投与、パッチテストやプリックテスト、皮膚生検、画像検査等による精査も積極的に行っています。

「皮膚は全身の鏡」と言われる通り、皮膚は全身の様々な変化を反映します。皮膚から様々な疾患を読み解き、地域の皆様に貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

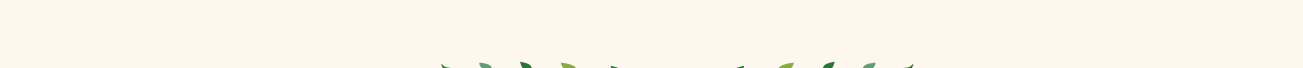


2026年4月から消化器外科科長を拝命しました中川 和也と申します。私は、横浜市立大学消化管外科学教室に所属しており、これまで横浜市立大学附属病院、横浜市民病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターなどの病院で消化器外科の診療に従事してまいりました。特に大腸がんを中心とした下部消化管悪性腫瘍の診療に携わり、腹腔鏡手術やロボット支援下手術の手術を経験してきました。2025年4月から藤沢市民病院に赴任し、今年で2年目を迎えました。



消化器外科は、救急外科、乳腺外科と協力し合いながら、胃がん、大腸がん、乳がんなどの悪性疾患から、胆のう結石症、虫垂炎、単径ヘルニアといった良性疾患まで幅広い疾患領域を診療しています。また、ロボット支援下手術といった新規技術の導入も積極的に行っており、直腸がん、結腸がんに続き、2026年3月からは胃がんに対してのロボット支援下手術を導入しております。

これからも、外科スタッフ一丸となり、市民の方々に安全・安心な医療を受けていただくために頑張ってまいりますのでよろしくお願い申し上げます。



2026年4月より当院精神科勤務となりました辻 勝英と申します。私は横浜市立大学精神医学教室に所属しており、横浜市立大学附属病院に加えて、教室の関連病院である国立病院機構横浜医療センター、藤沢病院、あさひの丘病院といった病院で精神科治療に従事してきました。今回、ご縁があり4月から藤沢市民病院で勤務することになりました。



当院の精神科では、身体疾患の治療に伴って生じる抑うつ状態、せん妄、不安、不眠などに対して、外来や入院において、他科と共同で治療にあたります。

その他に、自殺企図などで救急搬送になった患者さんの精神症状の評価、専門的な治療ができる病院への転院の必要性等の評価も行っております。また、精神疾患をお持ちの患者さんが入院された際の精神評価や必要に応じて薬剤調整も行います。当院は精神科病床が無いため、重症の精神疾患がある患者さんの身体疾患の治療は困難です。その場合は精神科病床のある総合病院へ紹介して治療をお願いすることがあります。

精神科医1名であるため、精神科単独で精神疾患の治療を行うというより、他科の治療が円滑に行えるようにお手伝いするのが主な仕事になります。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。